

真宗おおだ東

第 7 号
2018.10.1 発行
発行所
真宗大田東組
組報編集部

そらごとたはごと

(思うにまかせぬ)の世

大田東組長 松 村 淳 真

今年には地震の強い揺れに驚き、各地の豪雨災害に加え連日の猛暑に耐えながら皆さん苦しみられました。ようやく涼しくなり安堵したと思えば、いつもいい味を見せてくれた女優、樹木希林さんが亡くなり惜しい人材を失いました。また、この人の発することばもなかなか凄味があつて「…まともな日常生活を送れませぬという言えない」と、初期大乘仏教も親鸞聖人の関東時代も仏法の原点は諸行無常の日々をまともに生きることからでした。さまざまな下層職種を懸命に生き、難儀な生活の中で仏法のことばに照らされ、受け止めながら念仏申す人びとが生まれてまいりました。歎異抄の「そらごとたはごとまことあることなし」とは、何事も自己都合にとらわれ迷いを深め、相互に収拾

がつかない無明煩惱のありさまのこと。誰しも勝手な物差しで自己主張すれば

「まこと」など望むべくもない道理です。昨今は政治向きの会話を避けるタイプの人でさえ、官僚の「文書改ざん」などあり得るのかと仰天する事態が日常化するありさまで、国会が制御能力を放棄するに等しい様相です。文書改ざんも記録を残さないことも歴史への背信行為でしょうが、それでもなお、20、30代の政権支持率が他の世代より高いという現象。野党政権の時に比べ就職し易いなら不正があつても抗議なんかしないということらしい。ましてや、往時の元総理が選挙区で落選しながら、比例で浮かび上がり幹部に居座るなど野党の罪もことばを失うほど。

あの時の忌まわしい反動が、今の政権を支える一因という強烈な皮肉でしょうか。支持政党なしという四割の大集団には、政治への関心を放棄して音楽、芸術に偽りなしと向かう側へ情熱を傾ける塊がどの時代にもあります。世を捨てたわけではなく勿体ないことだと思えます。釈尊が説かれた観無量寿経は、目の前の韋提希夫人だけが目当てではなく「未来世」の衆生のため、わたし達一人びと

りの為に撰取不捨の念仏のみ教えを説かれました。釈尊滅後、スバッタという年老いた修行僧の不穏な言動が「経典編纂」の動機と伝えられます。釈尊の弟子集団、時代を跨いだ遺弟たちが500年の歳月をかけて「経典」を編纂した歴史を知られば、どのような職責であつても襟を正さざるを得ない思いを抱かせます。記録を正しく伝え、残すという尊厳・厳しさの原点が経典編纂と深いかかわりを持つています。人生百年時代などという掛け声も聞かれますが、日数にすれば3万日で82歳。年齢を重ねればお医者さんのお世話にもなり、生まれたばかりの子ども達に800万円近いつけ回しする現実はやはり心苦しい。念仏奉仕団ではないが、この世への恩返しをどうしたものかと思えます。それでも、誰もがかけがえのない日々を、手を合わせて丁寧に過ごしてまいりましょう。



82歳。年齢を重ねればお医者さんのお世話にもなり、生まれたばかりの子ども達に800万円近いつけ回しする現実はやはり心苦しい。念仏奉仕団ではないが、この世への恩返しをどうしたものかと思えます。それでも、誰もがかけがえのない日々を、手を合わせて丁寧に過ごしてまいりましょう。

大田東組内寺院

地震による 被害状況

4月9日未明、島根県西部を震源にした震度5強の地震が大田市を襲いました。

被害にあわれた門信徒におかれましては心よりお見舞い申しあげます。

組内のお寺でも甚大な被害を受けました。



大田町 正蔵坊

正蔵坊も多くの被害を蒙りました。庫裏の屋根のズレによる雨漏り（屋根の葺き替えが決定）、壁のひび割れ、山門石垣のズレ、山門の擁壁塀の瓦損壊、納骨堂の壁損壊、トイレの屋根損壊などの被害にあいました。

（住職記）

波根町 立善寺

立善寺は、鐘楼が全壊し、本堂壁にも亀裂が入りました。また客殿の屋根瓦がずれてしまい、雨漏りなど大変な状態になりました。

経蔵も漆喰壁がはがれ市から『危険』の赤い紙が貼ってあります。

（住職記）



三瓶町 浄善寺

本堂が動いた！

明治5年の浜田沖地震の後、地震に強い構造、材料、そして場所も厳選して再建した。今回は本堂全体が時計回りに数センチ回転した。

漆喰壁は塗り直し正面の柱の礎石も取り替える。復興は数年を要す。

（住職記）



第2回

大田東組

連続研修会を終えて

昨年の9月から今年の9月まで、1年間に渡り組内のご寺院を会場として連続研修会（以下「連研」）を参加者17名で開催しました。新しい教材「連研ノートE」を使用し、講師も僧侶だけではなく、門徒推進員さんにも加わっていたこと、会所も今までに



利用していないご寺院等。初めての試みで事務局を始め門徒推進員さんの協力により終わることができました。先月のテーマ「連研を振り返って感じたこと」ということで、参加者の意見をまとめてみました。

●今回で連研参加は、3回目。1回目で分からず、2回目で何となく分かった。3回目になり話し合い法座の時、建前で話していたのが、本音で言えるようになった。

●昨年母親を亡くし、寺との縁が深まり参加するようになった。それがなければ儀式だけのお付き合いで終わっていた。参加するたびに難しくてわからなくなっていたが、浄土真宗という教えが気になり始めてきた。

●毎回連研の会場が変わり、出会ったことのないご住職にも会え、月に一度の連研が楽しみがたななかった。



どんどん入っていった。決して向こうに追いやることではない。参加しないのもつたいたいと思っただ。

●組報（真宗おおだ東）での連研の呼びかけの文章（門徒推進員 齊藤寛さん）で、興味が湧きいつか参加したいと思っていた。途中からであるが、毎月の連研が楽しかった。また是非開催してほしい。

●真宗門徒の家に生まれ、真宗門徒の家に嫁ぎこの度連研に始めて参加した。人生生き切る力をいただきました。

●連研が終わり、毎回、家に帰ると主人が何かが話し合われたかを聞いてきて、また家庭で話し合い法座が始まった。おさらいが出来ていいことだと思っただ。

●真宗門徒としての自覚ができた。お寺に行く時は、門徒式章は、必ず



していくようになった。などなど、意見、感想をまとめてみました。参加者の感想にもありましたが、連研開催に当たり昨年の組報で募集をかける文章を書いていただいた、門徒推進員 齊藤寛さんにも感想をいただきました。

大田東組連研事務局 門徒推進員 齊藤 寛

この9月の連研で12回の問いが終わりましだ。ご参加頂いた方々には、様々な感想があると思います。スタッフは毎回、反省点を確認してはいましたが、参加者の方々にとって十分な配慮された運営であったかは最終の反省会において確認されることと思います。次回はいつ頃の開催となるかは分かりませんが、今回の反省をしっかりとふまえ、参加された方々に更に配慮された、実りある開催が出来ることを期待しています。今回参加された皆様にはぜひとも中央教修の連研に参加を頂き、門徒推進員として、スタッフとして係って頂き、更に充実した次回の開催が出来ればと願うばかりです。

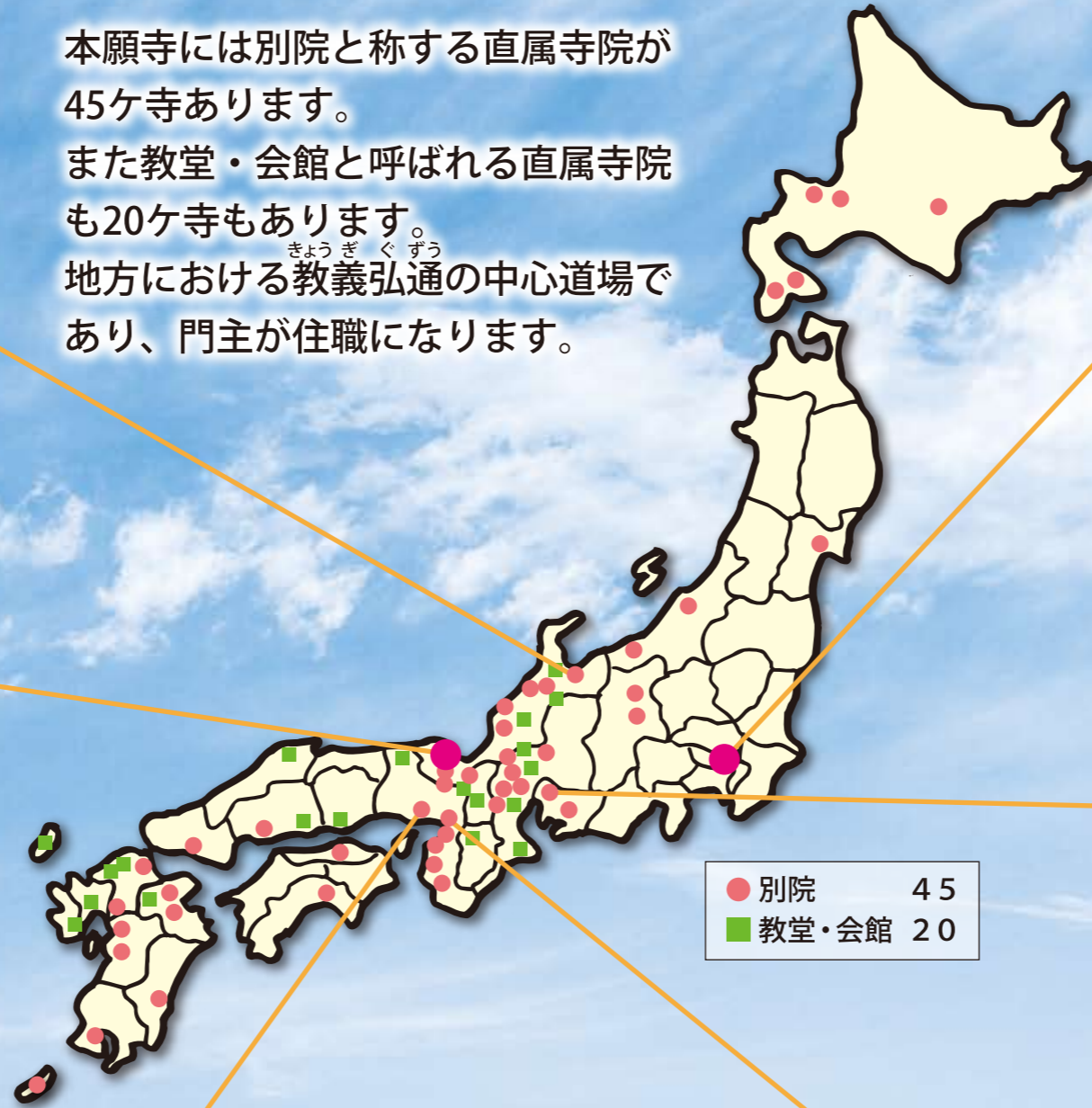
今回連研担当として1年関わり感じたのは、この連研は、話し合い法座を通して門徒の本音が聞ける場所であることに気づきました。また、多くの僧侶、門徒推進員の方にも参加して欲しかったと実感しました。

次回の開催は、何年後になるのか。できれば間をおかず開催して欲しいとの要望がありました。したことを添えて終わりの言葉とさせていただきます。

連研担当 菅原 憲

浄土真宗本願寺派の寺院

本願寺には別院と称する直属寺院が45ヶ寺あります。
 また教堂・会館と呼ばれる直属寺院も20ヶ寺もあります。
 地方における教義弘通の中心道場であり、門主が住職になります。



【富山別院】

富山別院(1966年) 富山市の街中にある近代的な寺院です。本堂は5重ノ塔を模した鉄筋コンクリート造で、その塔の上には鐘を設置しています。



【築地本願寺】

築地本願寺(1934年) 設計は東大建築学教授 伊藤忠太氏です。今年、境内に近代的なレストランが増築され、ユニークな朝食等があり、毎日賑っています。



【西本願寺】

御影堂と阿弥陀堂はあらたに国宝指定され、合計7か所が国宝指定されています。



【名古屋別院】

名古屋別院(1972年) 別名を名古屋御坊と呼ばれ、また、真宗大谷派の東別院に対して、西別院とも通称されています。



【神戸別院】

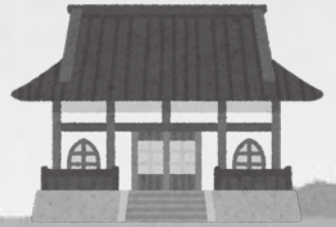
神戸別院(1995年) 尖塔や壁面彫刻などインド様式を取り入れた斬新な建築様式で知られ異国情緒豊かな5つの尖塔とステンドグラスが非常に美しい。本堂は内陣に畳を用いず椅子座規範の席となっていて、別名モダン寺と、愛称で呼ばれています。



【津村別院】

津村別院(通称 北御堂)(1964年) 設計は東大建築学教授 岸田日出刀氏です。鉄筋コンクリート造地下1階地上5階建ての近代建築です。また、御堂筋は、北御堂と南御堂(真宗大谷派難波別院)を繋ぐ道であることの由来です。

地域と寺院の ご縁づくり



お晨朝(おあさじ)と朝食会

久利町浄賢寺 岩根了達



7月7日(土) 昨年に続き、お晨朝(おあさじ)と朝食会を開催しました。朝6時、仏教婦人会のメンバー数名が朝食の準備に來られました。6時30分、近所の方が本堂に集合し、声高らかに十二礼のお勤めをしました。7時、いよいよ朝食会の始まりです。メニューはごはんと味噌汁・のり。これに、近所の方が持つてこられた温泉たまごにきゅうりの漬物。質素な朝食のようですが、みんなの会話と笑顔でりっぱな献立となりました。この度は、ごはん三升と炊

きすぎてどうしようかと迷っていたら、参加者男性によるオニギリ作りが始まりました。大きさは様々でしたが、塩味は中々の物。りっぱなお土産となりました。この日の朝食代は大人300円で、20代から70代まで18名が参加しました。久利町に住む品川健治さんから「とてもおいしい朝ご飯、ありがとうございます」などのメールがありました。この会は、お寺と地域を結ぶ大切な架け橋です。今後とも、皆がこの地域に住んでいて良かったと思えるよう頑張っていきます。



お寺の本堂でコンサート

大田町正蔵坊 菅原憲



「お寺の本堂でライブをしてみたい」という地元で音楽をする若者の要望に応え、始めたのが5年前。今では「寺フェス」として浸透してきました。過去には、松江市出身のシンガーソングライター浜田真理子さん、山根万理奈さんなどに出演していただきました。音楽を通して、たく

さんの若い人にお寺とのご縁を深めていただきたいと考えています。第5回目となる今年は、10月8日(日)東京で活躍のMEAJYU(ミージュ)さんを始め3組のミュージシャンが出演予定。気軽にご参加くださいませ。

本堂に響き渡る歌声が、夜の静寂をつつみ込む。

寺 FES.

THREE ARTISTS ACOUSTIC LIVE

出演
The new album "my heart on fire" Release 記念イベント開催
MEAJYU
松下怜司
さむばい

2018.10.8 (日・祝) 開場 17:30 開演 18:00
会場: 正蔵坊
www.330200-csinger.com
チケット1,500円 当日2,000円

2018年 報恩講のご案内

寺院名	日 時	講 師 名
川 合 地 区		
浄教寺	11月21日(水) 13:00～	菅原 俊軌 師 (富山町 高林寺)
善性寺	10月29日(月) 13:00～ 10月30日(火) 7:00～ " 13:00～	菅原 龍憲 師 (大田町 正蔵坊)
妙覚寺	11月23日(金) 13:00～	未 定
蓮乗寺	11月16日(金) 13:00～	未 定
眞光寺	11月 1日(木) 13:00～	岩根 了達 師 (久利町 浄賢寺)
善林寺	11月 7日(水) 13:00～	菅原 憲 師 (大田町 正蔵坊)
久 利 地 区		
浄賢寺	11月15日(木) 13:00～	菅 和順 師 (浜田市 光現寺)
圓滿寺	11月 4日(日) 13:00～	金盛麻衣子 師 (三瓶町 専勝寺)
信楽寺	11月27日(火) 13:00～	菅原 昭生 師 (温泉津町 西楽寺)
西善寺	12月10日(月) 13:00～	未 定
専徳寺	12月 1日(土) 13:00～	松林 文雄 師 (福泉寺 住職)
念願寺	11月18日(日) 13:00～	岡田 哲水 師 (美郷町 西念寺)
長 久 地 区		
蓮教寺	11月 1日(木) 13:00～	岡田 哲水 師 (美郷町 西念寺)
浄土寺	11月10日(土) 13:00～ 11月11日(日) 13:00～	未 定
正願寺	11月12日(月) 13:00～	毛利壽恵子 師 (大屋町 大雄寺)
久 手 地 区		
松林寺	11月 1日(木) 13:00～	荒本 由美 師 (大代町 西臨寺)
極楽寺	11月23日(金) 13:00～	荒本 由美 師 (大代町 西臨寺)
正専寺	11月 5日(月) 13:00～ 11月 6日(火) 13:00～	未 定
鳥 井 地 区		
設我寺	10月 9日(火) 13:00～	宮脇 英世 師 (設我寺 住職)
法専寺	10月17日(水) 13:00～ 10月18日(木) 13:00～	藤実 無極 師 (滋賀県 報恩寺)

寺院名	日 時	講 師 名
大 田 地 区		
西楽寺	11月 4日(日) 13:00～	朝枝 弘照 師 (矢上町 西善寺)
正蔵坊	11月28日(水) 13:00～ " 19:00～ 11月29日(木) 13:00～	太田 信成 師 (滋賀県 蓮照寺)
常見寺	11月23日(金) 13:00～ " 19:30～ 11月24日(土) 13:00～	延塚 知道 師 (京都市)
眞浄寺	11月 9日(金) 13:00～ " 19:30～ 11月10日(土) 13:00～	川本 義昭 師 (益田町 西楽寺)
明善寺	12月 5日(水) 13:00～ 12月 6日(木) 13:00～	荒本 由美 師 (大代町 西臨寺)
三 瓶 地 区		
専勝寺	11月 3日(土) 13:00～	大道 修 師 (熊本県 教尊寺)
西教寺	11月 4日(日) 13:00～	菅原 俊軌 師 (富山町 高林寺)
宗正寺	11月19日(月) 13:00～	未 定
禮善寺	11月11日(日) 13:00～	未 定
照善寺	11月20日(火) 13:00～	荒本 由美 師 (大代町 西臨寺)
浄善寺	11月15日(木) 18:30～ 11月16日(金) 13:00～ 11月17日(土) 13:00～	朋澤 智弘 師 (吉賀町 誓立寺)
徳善寺	11月13日(火) 13:00～	斎藤 友法 師 (益田市 善正寺)
波 根 地 区		
大恩寺	10月21日(日) 13:00～	原田 光生 師 (大代町 浄土寺)
立善寺	11月21日(水) 12:30～ 11月22日(木) 12:30～	武田 正文 師 (邑南町 高善寺)
富 山 地 区		
専念寺	11月 3日(土) 13:00～	清胤 弘英 師 (広島県 正覚寺)
福泉寺	11月13日(火) 13:00～	菅原 昭生 師 (温泉津町 西楽寺)
高林寺	10月28日(日) 13:00～	佐々木俊教 師 (出雲市 覚専寺)

報恩講(ほうおんこう)とは、親鸞聖人のご命日に
あたって、そのご恩を報謝する法要です。

● ● ● 皆さま 誘い合わせてお参りください ● ● ●

寺族婦人会

こんな活動を しています

寺族婦人会会長
黒河 ひろ子

寺族婦人会は組内の寺院女性の親睦と研修を目的とし、年2回の研修会とボランティア活動が主な事業内容となっております。研修会は会員の寺院をもちまわりで、会所のご住職の法話のあと、寺院女性としての知識、門信徒の方とのつながりなど、今私たちが直面していることも話題にしながら、お互いを高めあえるよう意思疎通を深めています。ボランティア活動は毎年1回、川合町の老人ホーム眺峰園のお仏壇の仏具磨きをさせていただいております。これらの活動の他にも昨年はバスで市外の寺院参拝も実施しました。

また教区寺族婦人会連盟主催の研修会にも自主的に参加しており、今後一人ひとりの意識向上につなげていけたらと思う次第です。

吾亦紅

▲「いいことはおかげさま、わるいことは身からでたさび」(あいだみつを) ▲「ぞうきんは、他のよごれを、いつしようにけんめい拭いて、自分は、よごれにまみれている」(榎本栄一) ▲「順調に行く者が必ずしも幸せではないのだ。悲しむな、タンポポを見よ踏まれても平気で花を咲かせているではないか」(坂村真民) ▲これは、かつての仏教詩人として、つとに著名な方々の代表的な詩である。お寺の掲示板に掲げられる定番のものなのだ。仏教徒であるなしにかかわらず、一度や二度は耳にされた言葉であろう。このような断片的に切り取られた情緒的な言葉は、なにかこころが洗われるような気分にはさせられる。孤独やみじめさが、ある甘美さをもって自らを慰める。▲その心地よさはきつとこの現実とどう関わり合うかといったような、煩わしい時代社会と向き合うことなく、社会のさまざまな問題から目をそらし、こころの問題へと収斂される。▲人間の苦悩は、観念化され、抽象化されることによって、何か救われたかのように錯覚する。過酷な苦しみに忍従することをおぼえても、その不当を問う思いは、胸の底に深く閉ざされる。あえていえば罪の深い言葉だと思う。▲「響く金言、お寺の掲示板に熱視線！」(8月4日朝日新聞)という見出しが目にとまった。短い言葉で仏教の教えや人生訓などを伝えるお寺の掲示板が各地で注目を集めているというのだ。しかし、このように「こころ」の問題が世をあげて喧伝されるときは、ご用心！ご用心！である。

(龍)

仏事の豆知識

「合掌」 仏教伝来とともにインドの習慣(ナマスエ)両手を胸の前で合す。右手は精浄、左手は不浄を表し、人間の真実の姿を表現していると言われ、何も飾らず敵意のない自身の姿です。

「無常」 因縁によって生じるものは、すべて消滅変化してとどまらず 生命のはかないこと 永遠性のないこと「諸行無常」といいます。

編集後記

連続研修会はいよいよ12回の最終回となり、受講者の念仏申さん心の灯が明るく点り出している。念仏御同朋の縁が紡がれた。うれしいことである。血縁、地縁、仕事縁にはない念仏の縁に新しい自分が生まれている。ありがたい。

(門徒頭)

編集委員

青木正三 岩根了達 菅原一憲 竹村一秀 三瓶一曉 渡邊寛治 渡邊元文 (五十音順)